



菅原敏さんと市内在住のサクソフ奏者



星ぞらの里でジャズを堪能

第4回北股星空の里コンサート

北股地区振興会（加瀬裕也会長）は10月30日、北股地区センターで「北股星空の里コンサート」を開きました。大平念仏剣舞のほか、地元出身のジャズピアニスト菅原敏さん率いる「YAYA'S SONG PROJECT」などの演奏が披露され、集まった約200人の観客を楽しませました。

フィナーレは、敏さんが作曲した衣川小学校校歌を同校児童と共に合唱。会場は、星空とすてきなハーモニーで、幻想的な雰囲気に包まれていました。

胆沢区

懐かしや思い出のむかさり

第17回なつたふれあいまつり

第17回なつたふれあいまつりが10月30日、南都田公民館で開催され、昔懐かしい花嫁行列「むかさり」の披露などで会場にぎわいました。

この行列は南下幅長生会会員が、昭和30年頃に使用していた衣装や道具を使い再現したもの。花嫁や仲人に扮して会場を練り歩く姿に、当時を思い出した見物客らが駆け寄り声を掛けていました。まつりでは、支部対抗3世代玉入れ競争や郷土芸能の発表もあり、子どもから大人まで皆が祭りを楽しんでいました。

おしろいの花嫁、仲人が見物客にこあ



江刺区

リンゴのおいしい秘密発見

江刺りんごサポーターが選果場を見学

J A江刺園芸センターで10月15日、江刺りんごサポーターによる産地を知るイベントが行われました。

あいにくの雨模様のため、この日の収穫作業は中止。県内各地から集結した約60人のサポーターは、生産者からの荷受けに始まり、出荷までの過程をじっくり見学しました。リンゴを載せて、ものすごい速さで動くトレーに、ちびっ子サポーターは興味津々。橋本朔くん（4）＝岩谷堂字杉ノ町＝は「箱を積むロボットがおもしろかった」と、満面の笑顔を見せていました。



参加者全員でジョナクんとパチリ

胆沢区

湖底に沈む風景に思い寄せ

秋の胆沢路・胆沢ダム湖底ウォーキング



ガイドの説明を聞きながら、見納めとなる風景を楽しむ参加者

秋の胆沢路・胆沢ダム湖底ウォーキングが10月23日、石淵ダム周辺で開催され、家族連れやグループなど約140人が散策を楽しみました。

市内を中心に一関市や遠野市などからも参加のあったこのイベント。胆沢ダムの完成により湖底に水没する石淵ダムと、その周囲の景色を忘れないでほしいと、胆沢ダム工事事務所が企画したものです。来年度に行われる試験湛水で、旧国道397号は水没する予定。参加者らは石淵ダムを経由して、胆沢ダム上流まで約5㌔を踏破しました。途中、地名や工事の状況についての説明を受け、紅葉し始めた山や湖面の記念撮影をするなど、消えゆく風景を慈しむように歩いていました。

水沢区

年に一度の南部鉄器販売会

第32回市南部鉄器まつり

市鉄物技術交流センターで10月1日・2日、第32回市南部鉄器まつりが開催されました。同祭りは年に一度開催される恒例のイベント。鉄瓶や急須、風鈴などが通常価格の4割引で販売されるとあって、ことしも多くの来場者でにぎわいました。

1日には弁慶鉄下駄飛ばし大会を、小学生の部（下駄3㌔）、女性の部（同2㌔）、男性の部（同5㌔）の3部門に分かれて実施。来場者は参加者たちの奮闘する姿に、大きな声援を送っていました。

鉄下駄飛ばしに奮闘する小学生



平泉文化と衣川の講談に聞き入る参加者



秋晴れのもとで遺産を散策

平泉駅からハイキングを開催

平泉の世界文化遺産登録を記念して、J R東日本が主催する「駅からハイキング」が10月29日、平泉町と衣川区で開催されました。

参加者57人は平泉駅をスタート。世界遺産となった無量光院跡や、同登録を目指す長者ヶ原廃寺跡など平泉文化に関連する史跡を散策しました。川西伝承館では、歴史講談サークル奥州衣川青凜会の佐藤もと凛さんが、地元で伝わる歴史講談を披露。参加者は爽やかな秋晴れのもと、歴史に思いをはせていました。